

「令和6年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会（臨時）」議事概要

I 日 時

令和6年4月12日（金）から5月30日（木）

II 場 所

メール開催

III 出席委員（敬称略）

中村 洋（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

伊藤 憲二（森・濱田松本法律事務所 弁護士）

鈴木 裕子（東陽監査法人 シニアパートナー 公認会計士）

◎寺林 努（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

○矢野 奈保子（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事（非常勤））

※ ◎は委員長、○は委員長代理

IV 議 題

（1）審議事項案件

令和6年4月から6月に入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について

V 議事内容

（1）審議事項案件について

標記について審議及び報告が行われた。主な概要は以下の通り。

委員からの主な質問・意見及び当機構の回答	
質問・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ多くの会社から複数の見積を取得すること。また、最も安価な見積額を提示した業者とは、現地の相場に比べて割高とならないように価格交渉を行うこと。さらに、適切な調達を実施できるよう、外国調達の際に留意すべき指針等の整備を他組織のものも参考にして進めること。 ・できるだけ多くの会社から複数の見積を取得すること。また、最も安価な見積額を提示した業者とは、現地の相場に比べて割高とならないように価格交渉を行うこと。さらに、今後の外国調達に向けて、英語や調達先国の言語での仕様書作成も行えるよう体制を整えることとし、適切な調達を実施できるよう、外国調達の際に留意すべき指針等の整備を他組織のものも参考にして進めること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先行して駐在員事務所を設置した関係法人から紹介のあった内装業者のほか、タイ国の内装業者3者（コンサルティング会社からの紹介）に見積を打診した。1者からは辞退の連絡があったが、3者からの見積を入手した。また、他者の見積の情報（内訳）等をもとに、割高にならないよう調達先業者と価格交渉等行うこととする。さらに、「外国における契約」に関して、他組織の運用状況についても確認を行い、適切な調達を実施できるよう検討を進める。 ・在タイ日本大使館等から紹介いただいた現地業者3者に見積りを打診し、2者から見積りを入手した。（1者は条件の折り合いがつかず、提出期限日までに提出がなされなかった）また、他者の見積情報（内訳）等をもとに、割高にならないよう調達先業者と価格交渉等行うこととする。さらに、英語や現地での仕様書作成については、現地で雇用する日本語（英語）に堪能な現員を活用する等、体制を整備するように努めることとし、引き続き、「外国における契約」に関して、他組織の運用状況についても確認を行い、適切な調達を実施できるよう検討を進める。

以上